大阪府大阪市東淀川区菅原 7 - 1 - 21
株式会社北陽
代表取締役 北嶋 隆志 殿

近畿中国森林管理局長

指 名 停 止 通 知 書

この度、貴社が、建設業法の規定に違反し、大阪府知事から監督処分を受けたことは誠に遺憾である。

よって、下記のとおり指名停止を行うこととしたので通知する。今後は、かかる事案が生ずることのないよう十分注意されたい。

なお、「指名停止等措置に係る苦情処理手続要領」（平成 19 年 7 月 2 日付け 18 林政政第 793 号）の定めるところにより、当職に対してこの措置について苦情申立をすることができる。この場合、令和 8 年 1 月 19 日までに近畿中国森林管理局経理課にその旨を記載した書面を提出されたい。

記

1 指名停止の期間 令和 7 年 8 月 20 日 ～ 令和 8 年 1 月 19 日（5 ヶ月）

2 指名停止の理由

株式会社北陽は、令和 7 年 3 月 31 日付けで大阪府より以下の監督処分を受けた。

- (1) 株式会社北陽は、大阪市発注の 3 件の工事（以下「本件工事」という。）において、建設業法第 26 条第 3 項の規定に違反して、他の工事現場に専任の主任技術者として配置すべき A 氏を主任技術者の配置に専任を要する本件工事の工事現場に非専任の主任技術者として配置した。また、経営規模等評価の申請において、建設業法第 27 条の 26 第 2 項から第 4 項までの規定に違反して、「工事経歴書」に本件工事うち 2 件の工事の工事現場に配置した主任技術者を A 氏と記載すべきところ、B 氏と記載をし、さらに、株式会社ケイテックから請け負った当該工事を、建設業法第 22 条第 1 項の規定に違反して、一括して株式会社タケムラに請け負わせていたが、当該工事を実質的に行っているとは認められないため当該工事の金額を完成工事高に含めて記載するべきではないところ、当該工事を施工したとして当該工事の金額が鋼構造物工事の完成工事高に含まれるとする記載をした。これらのことが建設業法第 28 条第 1 項及び第 4 項に該当するとして、大阪府より指示処分を受けた。
- (2) 株式会社北陽は、大阪市発注の工事において、建設業法第 26 条第 3 項の規定に違反して、他の工事現場に専任の主任技術者として配置すべき A 氏を主任技術者の配置に専任を要する本件工事の工事現場に非専任の主任技術者として配置する（加えて、他社の現場代理人でもあった）など適格な主任技術者を配置せず、建設業法第 22 条第 1 項の規定に違反して、その請け負った建設工事を一括して株式会社タケムラに請け負わせた。また、株式会社北陽は、経営規模等評価の申請において、建設業法第 27 条の 26 第 2 項から第 4 項までの規定に違反して、A 氏が他社の工事の現場代理人となっていたにもかかわらず、同氏を「技術職員名簿」

に記載をした。これにより得た経営事項審査結果を大阪市等に提出し、大阪市等がその結果を建築一式工事に係る資格審査に用いた。これらのことが建設業法第28条第3項及び第5項に該当するとして、大阪府より25日間の営業停止処分を受けた。

このことが、「工事請負契約指名停止等措置要領」別表第2第13号（建設業法違反行為）に該当し、契約相手方として不適當であると認められるため。